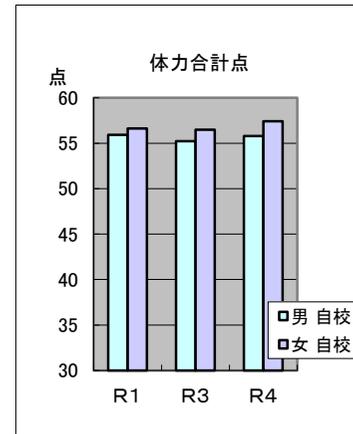
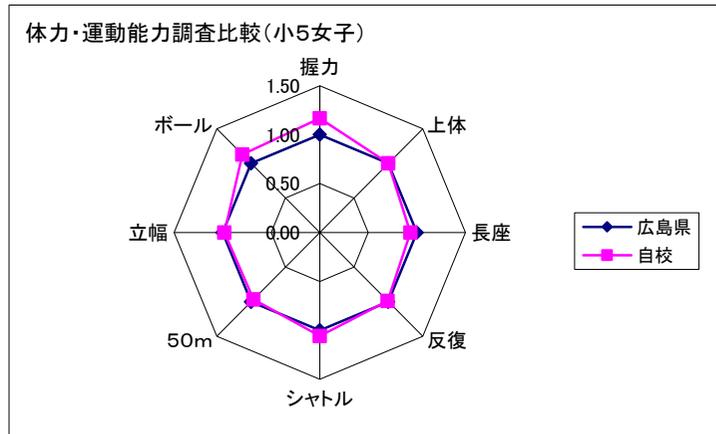
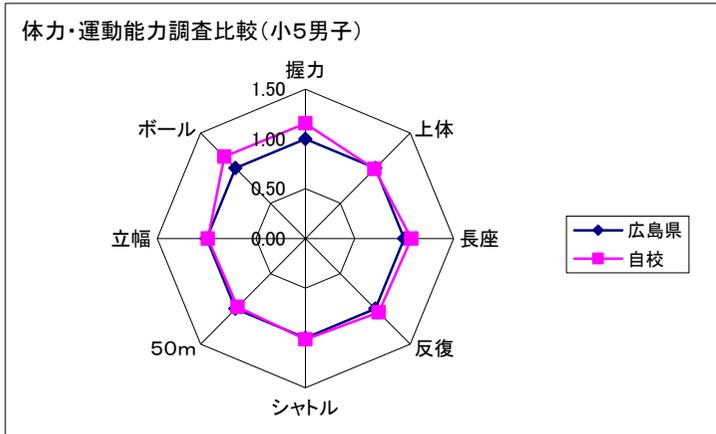


男子の体力合計点 学校 55.8点 県平均 53.82点

女子の体力合計点 学校 57.42点 県平均 55.90点



R4体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
 ・全国平均値と県平均値と本校平均値を比べると、男女共に約0.3秒ほど遅い結果となった。
 ・くれ・チャレンジマッチ・スタジアムのダッシュリレーを中心に体力・運動能力向上に取り組んでいるが、学年によって取組回数に差があった。

②20mシャトルラン(中学校区の課題種目)
 ・男子、女子共に平均値を上回る結果となったが、数値の高い児童と低い児童の二極化が見られた。
 ・運動する機会の減少や、20mシャトルランなどの持久力を必要とする種目の運動に、消極的になっている児童がいると考える。

③長座体前屈(自校の課題種目)
 ・全学年において男子は全国平均値と県平均値をほぼ達成したが、女子は達成することができなかった。
 ・特に、第5学年の女子においては、全国平均値から約4cm下回っており、大きな課題である。
 ・体育科の授業だけでは課題を改善することはできなかった。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・毎日の家庭学習で各学年に応じた運動やストレッチを行う。 ・体育科の準備運動や陸上運動の学習の際に、「くれ・チャレンジ・マッチスタジアム」のダッシュリレーに取り組む。 ・校内に「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」のランキング表を掲示し、児童の意欲や関心を高める。
②中学校区の課題種目 (20mシャトルラン)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・体育の授業の中で持久走を取り入れ、全身持久力を高めていく。 ・目標をもたせ、意欲的に取り組めるようにする。 ・持久走の学習では、トラックに計9個のコーンを設置し、目標を達成しやすいような場の設定を工夫する。
③自校の課題種目 (長座体前屈)	具体的な取組内容 ・体育の授業の中でストレッチを行う取組を継続する。 ・家庭学習にも運動を取り入れ、日々の習慣にする取組も継続する。 ・体育館に「パワーアップコーナー」を掲示し、学年に応じた具体的な運動内容について紹介する。(低・中学年 ストレッチ、高学年 ストレッチ 筋力トレーニング ランニング)

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)